

様式2

環境保全行動 報告提出書
自動車使用管理実施

2025年7月17日

(宛先) 札幌市長

提出者 住 所	〒160-8575 東京都新宿区四谷本塩町5番1号
氏 名	雪印メグミルク株式会社
(代表者名)	代表取締役社長 佐藤 雅俊

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例 第13条第4項の規定により、環境保全行動
第23条第3項 自動車使用管理実施
報告書を提出します。

報告期間		2024年4月1日～2025年3月31日					
事業の規模	従業員数	271	人	原油換算した 燃料・熱・電気の合計量	3448.3	kl	
	使用床面積	25666.93	m ²				
	事業所数	3	事業所	自動車使用台数	34	台	
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素 換算排出量)	エネルギー起源CO ₂ 7530	t-CO ₂	メタン	N ₂ O	HFC	t-CO ₂
		非エネルギー起源CO ₂	PFC	t-CO ₂	SF ₆	NF ₃	t-CO ₂
報告書の担当部署		担当部署名					
		担当者氏名					
		電話/FAX					
		電子メールアドレス					
計画書提出根拠		条例第13条（環境保全行動計画）			<input checked="" type="checkbox"/> 第1項 <input type="checkbox"/> 第3項		
		条例第23条（自動車使用管理計画）			<input type="checkbox"/> 第1項 <input checked="" type="checkbox"/> 第2項		
計画期間		2022年4月1日～2025年3月31日					
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書		別添のとおり					
備考							

- 注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の3月31日現在で記入してください。
- 2 事業所数は、報告年度に係る年度の3月31日現在の札幌市内事業所数を記入してください。
- 3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。
- 4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第4条に規定する方法により行ってください。
- 5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。
- 6 □のある欄には、該当する□内にレ印を記入してください。
- 備考 この様式により難いときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】

2022年 4月 1日～ 2025年 3月 31日

【報告期間】

2024年 4月 1日～ 2025年 3月 31日

行動目標	基準数値	目標削減率	2022年度結果			2023年度結果			2024年度結果		
			実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果
CO2排出量の削減(原油換算値、原単位)	21.67	1	20.22	7	○	19.14	12	○	18.64	14	○
	kl/億円	%	kl/億円	%		kl/億円	%		kl/億円	%	
車両の燃料使用の効率化(維持目標)	0.0809	0	0.0753	7	○	0.0775	4	○	0.0764	6	○
	l/km	%	l/km	%		l/km	%		l/km	%	
		%		%			%			%	
		%		%			%			%	
		%		%			%			%	
		%		%			%			%	

注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。

2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。

○：目標削減率を達成

△：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成

×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理 由
CO2排出量の削減(原油換算値、原単位)	○	売上高(億円)原単位で算出しており、2024年度の売上高が増加したことで、基準数値比で14%向上した。
車両の燃料使用の効率化(維持目標)	○	走行距離は前年比102%、ガソリン使用量も前年比100.7%と増加したが、効率的な運転により基準数値比で6%向上した。